

平成28年度事務事業評価シート(27年度実績)

◎基本情報

事務事業名	外国語教育推進事業		担当部署	教育委員会 教育支援室		
総合計画体系			根拠法令計画など	『英語が使える日本人』育成のための戦略構想(H14)、学習指導要領(H20)、「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」(H25)「世界にはばたく鳴門の子ども育成プラン」(H25)		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業期間	開始	平成	3年度
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なると			終期	未定
(小項目)	教育行政					
施策	1	教育行政の充実				
基本事業	6	教育支援体制の充実				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 市内幼・小・中学校児童・生徒														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力、確かな英語力を身につけた「世界にはばたく鳴門の子ども」を育成する														
事業計画	27年度に何を計画していたか	○中学校への派遣 年間約43H/1クラス 月4.3H(総時数の30%へ) ○小学校への派遣 5, 6年(15H/1クラス) 3~4年(約5H/1クラス) 1~2年(約4H/1クラス) ○研究開発学校へは 1, 2年(10H/1クラス) 3, 4年(15H/1クラス) 5, 6年(20H/1クラス) ○幼稚園への派遣(最低2回) 小規模園は、10回以上。(小学校への訪問の際に、15分程度活動。)														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学2年生のアンケート結果「外国の人に英語で話しかけられたら」の項目に「英語で答える」と回答する割合</td> <td>39</td> <td>50</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位	中学2年生のアンケート結果「外国の人に英語で話しかけられたら」の項目に「英語で答える」と回答する割合	39	50	55	60	65	%
指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位										
中学2年生のアンケート結果「外国の人に英語で話しかけられたら」の項目に「英語で答える」と回答する割合	39	50	55	60	65	%										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	27年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	①「世界にはばたく鳴門の子ども」育成事業推進プロジェクトチーム会議の開催(8月, 3月) ②市内全中学生対象の英語能力判定テストの実施と結果の検証 ③英検受験料補助事業の奨励(市内全中学生対象, 3級以上, 1人年1回)及び学生サポーターによる指導支援 ④市内全中学生(6月), 全小学4, 5, 6年生(2月)対象の意識調査の実施と結果の検証 ⑤グローバル人材講演会やイングリッシュキャンプの実施 ⑥小中学校教員対象の夏季研修会の実施(7回) ⑦小中高連携外国語教育研究委員会の活動の充実					
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 幼・小・中学校訪問日数	1,077	1,127	1,260	1,380	1,448	日
	2 英検受検者数(3級以上)	181	212	220	230	240	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	中学2年生のアンケート結果「外国の人に英語で話しかけられたら」の項目に「英語で答える」と回答する割合	46	47	-	-	-	%
	目標達成率(実績/目標)		94.0	-	-	-	%
今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり			

(千円)

財源内訳	平成27年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		0	0	0	0	26,685	26,685
		全体予算額		3,800	0	0	0	27,603	31,403
		決算額		4,062	0	0	0	23,852	27,914
		繰越額		0	0	0	0	0	0
	人件費		正規職員(6,859千円/人)	臨時職員(2,071千円/人)	総人件費		総事業費		
		2.0	0.0	13,718		41,632			

【事務事業名：外国語教育推進事業】  
(千円)

事業費推移	年度	26年度決算	27年度決算	28年度	29年度	30年度
	事業費	27,483	27,914	32,727	32,727	32,727
	うち一般財源	27,483	23,852	32,727	32,727	32,727
	人件費	13,756	13,718	13,718	13,718	13,718
	総事業費	41,239	41,632	46,445	46,445	46,445

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		ALTが各中学校区に常駐でき、市内各幼稚園や小中学校への訪問数が前年度よりさらに確保できた。
	効率性	A:効率的だった		英検受験者数は昨年度の目標値、及びこれまでの最高である25年度を上回ることができた。
②成果に対する評価	指標名	中学2年生のアンケート結果「外国の人に英語で話しかけられたら」の項目に「英語で答える」と回答する割合		「外国の人に英語で話しかけられたら」の問いに「英語で答える」と答えた中学2年生の割合は、47pにとどまり、目標値の50%には届かなかった。
	目標	50	%	
	実績	47	%	
	評価	B:概ね目標を達成できた		
③総合的な評価		B		ALTの幼・小・中訪問日数と英検受験者数は増加したが、「外国の人に話しかけられたら英語で答える」生徒の割合は目標に達しなかったことから、B評価としたい。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	新学習指導要領実施への移行措置に伴い、小学校における外国語の教科化に向けて授業時数の増加が予想されることを鑑み、ALTのさらなる増員を行っていく。 新たに全級3分の1補助と改正された英検補助金制度について、奨励と検証を行う。 「外国の人に英語で話しかけられたら英語で答える」と回答する中学2年生の割合をさらに増やしていくため、モチベーションの喚起や英語を使う場の設定、及び各中学校における授業改善のために、研修会や授業研究会の充実を図る。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	平成28年度	ALTの1名増員による8名体制の実現をめざし、各幼・小・中における訪問をさらに充実させる。 「世界で活躍する先輩からの出前授業」(大麻中学校、板東小学校)の実施に加え、10月に実施予定のイングリッシュキャンプの内容をより充実させ、児童・生徒の英語学習への動機づけや英語を使う場の設定を行う。			
	平成29年度	2年目となる新しい英検補助金制度についての検証を行い、さらに効果的な制度に向けて見直しを図る。 グローバル人材を活用した出前授業やイングリッシュキャンプ等のさらなる拡充、及び授業改善に向けた教員研修の充実を図る。			